

— 製品概要 —

裏面に粘着加工を施したインクジェット印刷用塩ビフィルム（メディア）

— 製品情報 —

品番/品名：GM-ASG80 エア・スイープ塩ビ80 グロス
GM-ASM80 エア・スイープ塩ビ80 マット

規格：1370mm×50m 0.27mm厚（セパレータ込）
紙管 3インチ

重量：1㎡あたりの重量（理論値） 約135g/㎡（フィルム+粘着剤 ※セパレータ除く）
梱包重量（カートン含む） 1370mm×50m 約21.8kg

材質：印刷面（基材） 塩化ビニル樹脂組成物（ポリ塩化ビニル、可塑剤、安定剤、顔料、他）
粘着剤層 アクリル樹脂組成物（アクリル樹脂、他）
セパレータ 両面ポリラミ紙（上質紙、ポリエチレン、離型剤）

耐候性：メディア単体=4年相当 ※使用するラミネートフィルムにより異なる

粘着特性：ボールタック値 5（代表値）

初期粘着力（SUS板貼付24時間後） 19.5N/25mm（代表値）

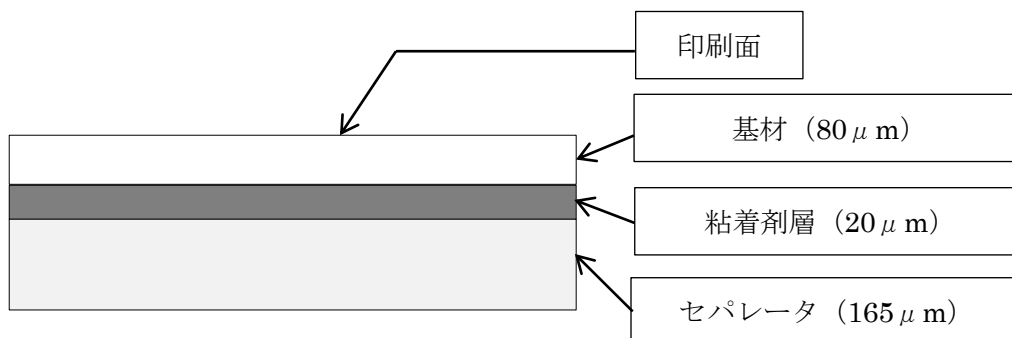
初期粘着力（アルミ板貼付24時間後） 16.9N/25mm（代表値）

試験方法：厚み 5mmΦのダイヤルゲージによる幅方向7点測定の平均値

耐候性 サンシャインカーボンアーク灯式ウエザーメーターによる

粘着力 JIS Z 0237に準拠する

製品構造



製造：バンドー化学株式会社 南海工場（大阪府泉南市）

販売元：バンドーエラストマー株式会社

— 耐候性、耐久性 —

耐候性及び耐久性については、グランメッセ™シリーズのメディアとラミネートフィルムを積層した状態での性能となります。また、バンドー化学における屋外耐候性とは黄変、クラック（ひび割れ）をいい、縮みや剥がれは耐候性とは異なります。

なお、耐久性については、各製品の耐候性同等の性能を有します。但し、耐候性、耐久性は弊社試験結果に基づく性能であり、保証年数ではありません。

<推奨ラミネートフィルム>

用途	品番	品名	屋外耐候性・その他
屋内外サイン	GM-CLG/CLM	クロマティックラミネートフィルム グロス/マット	屋外中期(3年相当)
	GM-FLG/FLM	フェースフルラミネートフィルム グロス/マット	
	GM-ILG/ILM	インテグレートラミネートフィルム グロス/マット	屋外中長期(4年相当)
	GM-TLG/TLM	トレンドフルラミネートフィルム グロス/マット	
	GM-DLG/DLM	デュラブルラミネートフィルム グロス/マット	屋外長期(5年相当)
	GM-GLG/GLM	グレートフルラミネートフィルム グロス/マット	
屋内サイン	GM-OLDM	ディーブマットラミネートフィルム	※屋外使用時約2年
屋内フロア	GM-SFL	アルティメットフロアラミネートフィルム	表面エンボスタイプ
	GM-UFL	スタンダードフロアラミネートフィルム	表面エンボスタイプ

— 含有化学物質 —

a. RoHS 指令 (RoHS2 指令含む)、REACH 規則 (第 25 次)

RoHS 指令 (RoHS2 指令含む)、および REACH 規則 SVHC (高懸念物質) の対象物質の含有については下記のとおりです。

(1) 基材、印刷面及び粘着層・・・含有はありません。

(2) セパレータ・・・含有はありません。

※ 製品としての含有はありませんが、a 項に示す化学物質のうち、コンタミとして以下を含有いたします。

①RoHS2 指定物質 (10 物質) DEHP (CAS No.117-81-7) <0.1%

②REACH SVHC 第 25 次 219 物質 DEHP (CAS No.117-81-7) <0.1%

b. ELV 指令

規制対象の化学物質について、閾値を超える含有はありません。

c. ホルムアルデヒド

本製品の製造工程においてホルムアルデヒドを使用しておりません。

— 防火認定（不燃材料） —

本製品は、規定の下地材、メディア、ラミネートフィルム、インクの組み合わせで、防火認定を取得しています。

防火認定が必要な場合は、必ず事前にご確認をお願いします。

防火認定の申請が可能な下地材と認定番号は、別紙表①を、印刷用メディアとの組み合わせは別紙表②をご参照ください。

なお、本製品の使用において防火認定の対象となるインクの種類がありますので、発行申込書に添付してあります説明書からご確認ください。

— F☆☆☆☆認定 —

本製品は国土交通省の定めるF☆☆☆☆認定（認定番号：MFN-2738）を取得しています。

本製品のF☆☆☆☆認定は別紙表②をご参照ください。

なお、本製品の使用においてF☆☆☆☆認定となるインクの種類がありますので、発行申込書に添付してあります説明書からご確認ください。

— 各種認定書写し、防火施工ラベルの発行 —

認定書写しや、防火施工ラベルの発行が必要な場合は、指定の発行申込書に記載事項を記入し提出してください。その際、添付の説明書をよく読み、記載内容に問題や漏れがないかをご確認ください。内容に不備があった場合は防火認定関係の書類は発行できかねますので、予めご了承ください。

最新版の発行申込書は弊社ホームページよりダウンロード可能です。

※ダウンロード方法：弊社ホームページ(<http://www.bandogrp.com/el/>)>ダウンロード>各種認定関係

— 使用注意事項 —

1. 印刷

- 各プリンターメーカーが作成している当社品番の出力プロファイルを使用して印刷してください。出力プロファイルがない場合は、必ず事前にテストを行ってください。
- 室温及び周辺温度は18～30℃、湿度40～70%で印刷するようにしてください。
- 印刷不良の原因となりますので、素手で直接メディアの表面に触れないでください。
- 印刷巻き取り時は送風機などで冷風を当てて、印刷後はゆる巻きの状態で立て置き、できるだけ空気にふれさせ残留溶剤を飛ばすように乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、ラミネートフィルムの接着不良や施工後の縮み、剥がれ等様々な不具合の原因となります。

2. ラミネート加工

- 使用環境や使用状況に合わせたラミネートフィルムをお選びください。また、事前に貼り合わせテストも行うようにしてください。
- 印刷後は前項の印刷時の注意事項でも記した通り、印字面を空気に触れさせ、十分に乾燥させてから

ラミネート加工をしてください。

- ・ラミネート加工時に印刷済みのメディアに触れると指紋など汚れの付着原因となりますのでご注意ください。
- ・ゴミやホコリが付着したままラミネート加工をすると、接着不良や不具合の原因になりますのでラミネート加工時は、メディアの表面にあるゴミやホコリを十分に取り除いてからラミネート加工してください。

3. 施工

- ・貼り付ける箇所が凹凸のある粗面の場合、接着しにくいことがあるので、貼り付ける箇所を出来るだけ平面にしてください。
- ・しっかりと圧をかけて貼り込むようにしてください。空気を逃すのと一緒に接着面の溝を潰していくイメージで貼ります。軽く貼っただけでは、点接着となり、水が入ったり剥がれの原因となります。
- ・貼り付ける下地材の表面に油分がある場合や、特殊なコーティング（防汚、フッ素コートなど）を施している場合、接着しにくいことがありますのでご注意ください。
- ・寒冷地などで下地の温度が低い場合、接着しにくいことがありますのでご注意ください。
- ・既存看板の上に重ね貼りをしないでください。重ね貼りをした場合、本来のメディアの性能が発揮されない為、必ず古いシートを剥がしてください。
剥がしが困難な場合は、新規の下地材にて施工するなどの対応をお願いします。
- ・アルミ複合板などを繋ぎ合わせた大型ディスプレイに貼る場合は、1枚毎に巻き込んで施工してください。巻き込みが難しい場合は、メディアの端材などで繋ぎ目を補強するか、またはアルミ複合板の繋ぎ目でカットするなどの処置をしてください。
- ・本製品は水貼り施工不可です。接着面の溝に水が残りやすく不具合の原因となります。
そのため、同様の理由により雨天時の施工にも注意してください。
- ・撤去時などメディアを剥がす時の糊残りは、下地材や使用環境、期間によって異なりますので、予めご了承ください。
- ・下記下地へは施工できません。もしくは施工しにくい場合があります。
 - ポリカーボネート(PC)
 - ポリエチレン(PE)
 - ポリプロピレン(PP)
 - シリコン
 - ゴム

※その他下地材でも、素材によって接着不良や変色を起こす場合がありますので、必ず事前にテストするようにしてください。

※ガラス、ウィンドウに施工する際の熱割れ計算は弊社では行っておりません。予めご了承ください。

— メンテナンス —

グラフィックスの表面を清掃する場合、ラミネートフィルムを施したグラフィックスは、乾拭きまたは水拭き、洗剤を使用する場合は、研磨剤などを含まない水で薄めた中性洗剤を使用して汚れを拭き取ってください。その際、グラフィックスの断面などから水が入らないよう、十分に注意してください。なお、ラミネートフィルムを施していないグラフィックスは、強く擦るとインクが剥がれる場合がありますので、はたきでホコリを落とすか、乾いた軟らかい布などで表面を軽く拭く程度にしてください。

— 運搬、保管 —

- ・湿気や直射日光を避け、風通しの良い冷暗所で、元の梱包状態に戻して保管してください。
- ・冬季の保管はプリンター機器周辺との温度差の生じない場所で保管してください。
- ・平滑な床面に保管してください。重ねて保管する場合は横積み4段までとし、また井桁ではなく、全てのケースが同一方向となるように置いてください。（重ね積みは未開封の場合のみ）

— 産廃処理 —

各自治体の産廃処理方法に従って、廃棄するようお願いします。

— 免責事項 —

- ・本説明書は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。
- ・本説明書の無断複製、引用等は原則禁止です。
- ・使用注意事項については、環境により異なる為、全てにおいて当てはまるわけではありません。

別紙

表① 防火認定(不燃材料)・F☆☆☆☆認定の申請が可能な下地材

下地材	種類	厚み	認定番号
ガラス	ガラス6mm以上、ケイ酸カルシウム板5mm以上、モルタル、コンクリート など	—	NM4979
建築省告示第1400号で定める不燃材料	石こうボード12mm以上、ケイ酸カルシウム板5mm以上、モルタル、コンクリート、ガラス、れんが、瓦、陶磁器質タイルなど ※金属板以外	—	NM-4165 NM-3826
指定不燃アルミ複合板	三菱ケミカル(株) アルポリック/frAD 藤田産業(株) 不燃ソレイタfr	3mm	NM-2822
金属板	ステンレス鋼板、めっき鋼板、圧延鋼板 など	0.3mm以上	NM-4466
アルミニウム合金板	<JIS H4000> 合金番号:1050,1060,1070,1100,1200,3003 3004,3105,5005,5050,5052,6101,7204 <JIS H 4100> 合金番号:6063,6N01,7003	0.5mm以上 15mm以下	NM-4467
建設省告示第1401号で定める準不燃材料	石こうボード9mm以上など ※金属板以外	—	QM-0772

表② 印刷メディアとの組み合わせ及び、防火認定(不燃材料)番号と F☆☆☆☆認定番号

下地材	ガラス (6mm以上)	建設省告示第1400号で定める不燃材料 金属板以外		建設省告示 第1401号で定める 準不燃材料	指定不燃 アルミ複合板	金属板 (0.3mm以上)	アルミニウム 合金板	F☆☆☆☆認定番号	
		NM-4165	NM-3826	QM-0772				MFN-2910	MFN-2738
品番	NM-4979								
メディア	RWP/RWS	—	●	●	—	—	—	●	—
	ASG80/ASM80	●	●	—	●	●	●	—	●
	ASG100/ASM100	—	—	—	—	●	●	—	●
	EHG/EHM	●	●	—	—	●	●	—	●
	STG/STM	—	—	—	—	●	●	—	●
	CPT80	●	—	—	—	—	—	—	●
	MPT80	●	—	—	—	—	—	—	●
	WPT	●	—	—	—	—	—	—	●
ラミネートフィルム	CLG/CLM	●	●	—	●	●	●	—	●
	FLG/FLM	●	●	—	●	●	●	—	●
	ILG/ILM	●	—	—	—	●	●	—	●
	TLG/TLM	●	—	—	—	●	●	—	●
	DLG/DLM	●	—	—	—	●	●	—	●
	GLG/GLM	—	—	—	—	—	—	—	—
	OLDM	—	—	—	—	●	●	—	●
	SFL	—	—	—	—	—	—	—	●
	UFL	—	—	—	—	—	—	—	●